

会 議 録

1 会議名

平成29年度第5回有田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成30年1月29日（月）午後1時30分から午後2時28分

4 開催場所

上越市カルチャーセンター 研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 熊木敏夫（会長）、青木ユキ子（副会長）、飯塚徳雄、市川 禪、
牛木幸一、大原久雄、樺沢早苗、栗間良子、高橋邦夫、高橋秀樹、
中川 清（欠席5名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、荒木係長、千田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【熊木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：青木副会長、飯塚委員に依頼

議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・資料No.1「平成30年度地域活動支援事業案の概要」に基づき説明、
- 資料No.2「平成30年度地域活動支援事業 有田区の採択方針等について(案)」に基づき説明

本日は、平成30年4月からの募集開始にむけ、有田区の採択方針等を協議・決定いただきたい。

【熊木会長】

それでは採択方針から順に来年度の方針をどのようにすべきか皆さんの御意見を伺いたい。

○採択方針：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○募集期間：4月2日(月)から5月7日(月)まで

次に周知方法についてはどうか。

【高橋秀樹委員】

地域活動支援事業の説明会が3月12日(月)開催になっているが、3月は町内の総会等が多い。中旬過ぎのほうが良いのではないか。

【熊木会長】

- ・分かっている範囲の行事等を報告(小学校の行事等)

【高橋秀樹委員】

該当する行事がなければ良いが、総会の関係で言えば引継ぎの会が3月に入ることがあるので、少し調べていただきたい。

【熊木会長】

それでは事務局から調べていただき、支障がないようなら3月12日(月)で決定していただきたい。

【滝澤センター長】

承知した。(後日、3月12日開催で決定)

【高橋秀樹委員】

3月1日号の地域協議会だよりで事前相談をするということを周知するが、事前相談はいつから受け付けているのか。

【荒木係長】

3月を相談期間にしているが、相談はいつでも受け付けている。

【熊木会長】

○周知方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○補助率等：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○審査方法：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

○その他：資料No.2のとおり、昨年度と同様とすることで委員の賛同を得る

それでは、平成30年度地域活動支援事業の採択方針については、以上のとおり決定とする。

3月12日に開催する事業説明会で事例発表を行っていただく団体だが、推薦があればお願いしたい。

・どの提案団体が良いか話し合い

では一つは「直江津東地域学園運営協議会」とし、もう一団体は事務局から選出していただきたい。

以上で協議事項については終了とするが、ほかに事務局から何かあるか。

【荒木係長】

提案募集に当たり、より多くの提案が出されるよう委員の皆さんへも事業の周知等の御協力をお願いしたい。また、補助金をこうした事業に活用できないか、事業提案のきっかけとなる地域内の課題でもよろしいので、過去の事例も参考にしながら意見をいただきたい。

【熊木会長】

何か地域の課題や、こんなことをしたいというような案件があれば出していただきたい。

【高橋秀樹委員】

カルチャーセンターの1階に図書スペースがあるが、その椅子が古くてお茶飲みをしたくてもできない人がいる。教育委員会との話し合いにも寄ると思うが、その辺はどうなのか。

【荒木係長】

市の備品等の更新については、地域活動支援事業を活用することが出来ないことになっている。ただ、市の施設を借りて地域活動をしていく中で必要な備品等に関しては、団体が管理する中において対応できる場合もある。

【高橋秀樹委員】

平成27年度に地域福祉活動を行うために整備した座椅子をカルチャーセンターで保

管してもらっているが、同じようなやり方でやれば可能なのかもしれない。

【滝澤センター長】

当事業では、平成25年度まで市の執行事業があり、市の施設の備品等の整備にも活用できた。だが、地域の活性化のために使っていただきたいという趣旨から平成26年度からは市の執行事業は対象外とした。しかしながら、住民の皆さんからも市の施設を直してほしいという意見が出ていることも事実である。

当事業については、平成30年度中に地域協議会の委員の皆さんからも意見を聞きながら事業の成果等について検証し、平成31年度に向けて制度の見直しを行っていく予定である。

【大原委員】

新設校開校の時期に「こども110番の家」の地図を更新するという話があったかと思うが、それはどうなっているのか。

【熊木会長】

先回同様に直江津東中学校区の地図になるのであれば、保倉区・北諏訪区の地域協議会長と話をしながら決めていくことになると思う。実施するとしたら平成30年度か31年度になると思う。

いろいろな情報を載せるのが良いと思うが、金額の問題もある。住民からは使いやすい地図だという声を聞いており、重宝しているのは確かである。

有田区は災害マップを作成していないので、市からの配布予定がないのであれば、県から出ている災害マップを参考に、110番の家の地図に付けるのも良いのではないかと考えている。

【高橋邦夫委員】

下門前の新しい団地の土地が決まっていないので、地図を作成してもすぐ使えなくなってしまうのではないかと懸念はある。

【熊木会長】

住宅地図を作製している業者で毎年調査はしていると思うが、いつ更新されるかである。それを活用しながら地図を作成していくので、平成30年度で対応できればそこで提案していきたいと思う。

【高橋秀樹委員】

国土地理院等の地図の出版の出し方を見ていると、3年くらい前の状況を反映してい

ることが多いので、平成30年のものを反映したいと思うと平成31年度か32年度くらいが良いのではないかと。

【熊木会長】

これについては、町内会長協議会で検討いただき提案してもらうのが良いと思う。

ほかに私が町内会長協議会長として聞いている情報としては、町内の防災担当から非難の際に必要な救急セット等の備品を整備したいという話がある。一町内だけでの提案は難しいと思うが、防災担当には、事務局に相談してほしい旨を伝えておく。

ほかにもこれまで当事業で購入した備品を更新したいというような提案が出てくるとは思うが、提案状況を見てどのように対応するか考えていくことになる。

それと、伝承行事についてである。賽の神は町内会長協議会から補助を出し実施していただいているが、最近、実施するのも難しくなっているのではないかと。

【高橋秀樹委員】

賽の神で何が提案できるかと言ったら土地の借地料等になってしまい、ハード事業の扱いになってしまうし、伝統文化の継承事業としては、これまで形が残るものを提案していたと思うのでそこが難しい。

【熊木会長】

賽の神については、どのように子どもへ伝えていくかである。町内によっては子供会が参加しているところもあるが、大人だけでやっているところもあるので、子ども達も参加させたいと思っている。祭りについては、小学生も一緒になって盛り上げてくれるが、賽の神を説明できる子どもはいないかもしれない。

【高橋秀樹委員】

伝承行事とは言いながらも各町内でやり方が違っており、私の町内では賽の神も祭りも小・中学校の子ども達を中心として行っている。

【熊木会長】

賽の神で難しいのは、子どもにどのようにして教え込むのが良いのかである。まずは、学校でも地域の伝承行事を取り上げてもらうよう依頼をしたいと思う。

【高橋秀樹委員】

伝承行事については育成会みたいなものを作ってその中で検討していかないと提案対象にならないのではないかと。

今年度もそうだったが、伝承行事に関わる提案事業が一つもない。

【熊木会長】

小学校では地域の行事を結構盛んに教えていると思う。逆に大人が地域行事を説明できないということがあります、恥ずかしく思う。

学校でもいろいろな伝承行事を取り入れてもらいつつ、それを学習教材として作り上げることができれば一番良いのではないかと考えている。

【高橋邦夫委員】

各町内がバラバラに提案するのではなく、まとめる団体が必要である。青少年育成会議に受け止めていただくことが良いと思う。また、地域の行事に対して、町内会長からも協力いただき、子ども達を町内会館に集めての説明会や、現地視察を行い、記録として残し、次の子ども達も使える資料として保管していくなど、ハード面でまとめることもできると思う。

町内にはいろいろな行事があるが、このような仕組みでやれば可能なのではないかと考えている。

【熊木会長】

平成30年度は難しいと思うが、引き続き検討していただければありがたい。一番良いのは、地域の行事を地図に落とし込みながら、そこを検索すると内容が出てくるといような感じで、学校でもタブレットに入れ込んでおけば授業としても使えるのではないかな。

今後の有田区の課題には、伝承事業をどのように見直ししていくかがある。最終的にはきちんとしたものが出来れば良いと考えているので、いろいろな人の意見を聞きながら進めていきたい。

ほかに意見等はないので、協議事項については終了とする。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：3月12日（月）

【熊木会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：3月12日（月）午後5時30分から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。